

1 本校の教育目標



「よく考える子」 よく聞き、考え、調べ、発表する子 (知)
「がんばる子」 かいっぱい自ら学び、鍛える子 (体)
「明るい子」 思いやりの心を持ち、元気に行動する子 (徳)



黒田小が大切にすること 「夢」と「感謝」と「積み重ね」

「積み重ね」：小さな「あたりまえ」を続けて行く

目指す児童像：あいさつ・返事・整理整頓等の積み重ね
を大切にする子

「感謝」：人と人との関わり合いを通して、「ありがとう」

がえられる学校・学年・学級をつくる

目指す児童像：人に感謝、人から感謝される子

「夢」：自分の特性を知り、その持ち味を生かした夢や目標をもつ

目指す児童像：「自分が好き」と言える子

夢を実現させるために努力できる子

2 経営方針…「未来を拓く子どもの育成をめざす」

(1) 確かな学力の育成

- ア 個に応じた「わかる・できる・身につく」授業づくりをすすめる。
- イ 特別支援学級「ひまわり」における多様な学びの場を充実させ、全教職員で支援する。
- ウ 自分らしい生き方を考える学習を充実させる。

(2) 豊かな心の育成

- ア 異学年交流やピアサポートの学習から、互いを認め合い尊重し合う教育をすすめる。
- イ 一人一人が「夢(目標)」を明確にし、自己肯定感・自己有用感を高め、自他の命を大切にする心の教育をすすめる。
- ウ 感動を味わえる体験活動を充実させたり、多様な読書活動を展開したりして、豊かな感性を育てる。

(3) 健やかな体の育成

- ア 体育の授業や体育的行事などの運動に親しむ機会の充実を図る。
- イ 生涯を通じて健康で安全な生活を送るために、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ウ 交通安全・災害安全に対する意識を高め、実際に行動できる力を身につけさせる。

(4) 信頼される学校づくり

- ア 校内研修教育を計画的に行い、指導方法の改善と評価の工夫を図り、授業力の向上に努める。
- イ 学校を積極的に公開するとともに、家庭・地域の意見を学校運営に生かし、学校・家庭・地域との連携・協働をすすめる。
- ウ 安全で安心して過ごせる学校づくりをすすめる。
- エ 子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革をすすめる。

3 本年度の重点努力目標…「本校の強みを生かして笑顔いっぱい为学校に！」

(1) 確かな学力の育成

- ・ 対話、協働を重視し、振り返りの時間を大切に授業づくりをすすめる。
- ・ 「学習ルール5か条」や「授業6か条」(授業評価シート活用)をもとにした学習習慣の定着を図る。
- ・ 図書館、新聞、タブレット等 ICT 機器の効果的な活用をすすめる。
- ・ 全教職員の共通理解と教育支援体制の充実をさせるため、毎月「すこやか委員会」を開催する。
- ・ 発達段階におけるキャリア教育の充実を図る。

(2) 豊かな心の育成

- ・ 教育活動全体を通して、子どもたちへ肯定的な声をかけて信頼関係を構築し、相談活動の充実を図る。
- ・ 「学校いじめ防止基本方針」に沿った、児童の主体的活動(話し合い)を通しいじめ防止の取組をすすめる。
- ・ 校内いじめ不登校対策委員会を中心とした組織的取組と関係機関との連携を図る。
- ・ 道徳科の授業の充実を図るとともに、「命の学習」や「福祉実践教室」などを通して、自他の命を大切に作る心と実践力を培う。
- ・ 「黒田小サロン」を中心とした児童と地域の人々との交流の場の拡充を図る。

(3) 健やかな体の育成

- ・ 体づくり運動、運動会やなわとび大会などの行事を通して、運動に親しむ機会の充実を図る。
- ・ 食育や保健指導の充実を図るとともに、家庭、地域への協力の呼びかけを行い、「早寝・早起き・朝ごはん」等の望ましい生活習慣を身につけさせる。
- ・ 危険予知トレーニング(KYT)や避難訓練、不審者対応訓練などを行い、安全意識を高め、実践力を身につけさせる。

(4) 信頼される学校づくり

- ・ 教職員がお互いの強みを生かして学び合うような校内現職教育を計画的に推進し、力量向上を目指す。
- ・ 地域の歴史や文化を学んだり、自然等に親しんだりする活動において、地域人材を活用する。
- ・ 安全点検(月1回)、避難訓練や大地震に備えた引き渡し訓練を実施したり、「登下校見守りボランティア」等との連携を強化したりして、校内外の安全管理体制の充実を図る。
- ・ 学校からだけの情報だけでなく、地域からの情報も公開するなど、学校ウェブサイトの充実を図る。
- ・ 子どもたちと向き合い、子どもたちと過ごす時間を大切にするために、教職員の勤務時間や健康管理を意識した働き方を推進する。

